

百の診療所より一本の用水路を

九州大学医学部120周年を祝う会併催イベント

医師・中村哲 ドキュメンタリー映画無料上映会

入場無料・要予約

先着150名様

2023年12月16日(土)15:00～
九州大学医学部百年講堂
(東区馬出九大病院キャンパス)

劇場版

荒野に希望の灯をともし

朗読 石橋蓮司 / 語り 中里雅子

取材 柿木喜久男 / 大月啓介 / アミン・ウラー・ベーク

CG 平野雄一 / 音効 渡辺真衣 / 大島亮 / 演奏 中村幸

編集 櫻木まゆみ / 撮影・監督 谷津賢二 / 構成・制作 上田未生

文化庁文化芸術振興費補助金 / 独立行政法人 日本芸術文化振興会

企画 ペシャワール会 / 製作 日本電波ニュース社2022年/日本/カラー/90分

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き様を追うドキュメンタリーの完全版!

医師 中村哲 現地活動35年の軌跡

武力で平和は守れない

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、
医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。
なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？
その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、
私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。



「彼らは殺すために空を飛び、
我々は生きるために地面を掘る。」 —中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。
それが“大干ばつ”だ。渴きと飢えて人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。
その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。
大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？
戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、
そして飾りのないむきだしの生死がある。」 —中村哲

専門家がいなかったまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死…
中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。
用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして—

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。
その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。
あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、
母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。
中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。
そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていこう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、
これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と
現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。
混沌とする時代のなかで、より輝きを増す
中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー!



入場無料・要予約

2023年12月16日(土)15:00～

九州大学医学部百年講堂(九大病院キャンパス)

先着150名様

福岡市東区馬出3-1-1(地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車 徒歩8分)

主催:九州大学医学部同窓会・九州大学医学部・九州大学医学歴史館 後援:福岡市

ご予約・お問い合わせは九州大学医学歴史館まで

Tel: 092-642-4856 (予約受付:水～日 10:00～16:00)

E-mail: igakurekishikan@gmail.com

ご予約はこちら

<https://www.lab.med.kyushu-u.ac.jp/rekishikan/>

